

活動計画検討会の取り組み

南海トラフ地震対策中部圏戦略会議「活動計画検討会」の設立趣旨

平成23年10月4日に設立した「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」も今年で7年を迎え、東日本大震災の教訓を踏まえた各機関における南海トラフ地震への対策は着実に進んでいます。

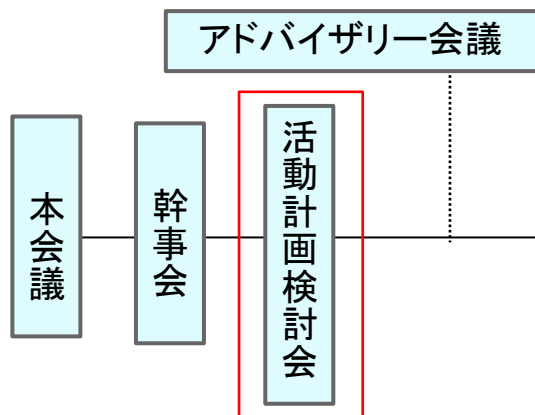
今後は、各機関における対策を関係機関と連携を強化することで、より実戦的な対策へと進める必要があります。

「9つの連携課題の幹事機関」や「協働が必要な課題の幹事機関」等による検討会を通して、各機関が持つ特性を活かした事前の備えや事後の早期復旧を充実させることにより、連携を強化していきます。

こうしたことから、「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」の今後の運営方針、活動計画、連携課題の進捗状況、新たな防災対策に関する情報交換等について、情報共有、連絡調整及び意見交換をより一層推進させることを目的に南海トラフ地震対策中部圏戦略会議「活動計画検討会」を設立します。

活動計画検討会の位置づけ

中部圏戦略会議



<活動計画検討会の目的>

- ・戦略会議の運営方針、活動計画の検討
- ・連携課題の進捗状況共有
- ・各機関(国、県)の防災に関する新たな取り組み等の情報共有、意見交換

【優先的(継続的)に取り組む連携課題等】

1. 災害に強いものづくり中部の構築
2. 災害に強い物流システムの構築
3. 災害に強い地域づくり
4. 情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化
5. 防災意識改革と防災教育の推進
6. 確実な避難を達成するための各種施策の推進
7. 災害廃棄物処理のための広域連携体制の整備
8. 防災拠点を結ぶネットワーク形成と総合啓開のオペレーション計画の策定
9. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制構築WG

災害医療部会

【WG、分科会等に連携強化】

産業の事業継続力向上プラン策定WG

救出救助・総合啓開分科会(仮称)

災害廃棄物及び道路啓開WG(仮称)

活動計画検討会 構成員

連 携 課 題 等		幹 事 機 関
1	災害に強いものづくり中部の構築	中部経済産業局
2	災害に強い物流システムの構築	中部運輸局
3	災害に強い地域づくり	中部地方整備局
4	情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化	東海総合通信局 中部地方測量部
5	防災意識改革と防災教育の推進	三重県
6	確実な避難を達成するための各種施策の推進	静岡県
7	災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備	中部地方環境事務所
8	防災拠点を結ぶネットワーク形成と総合啓開のオペレーション計画の策定	中部地方整備局
9	関係機関相互の連携による防災訓練の実施	中部管区警察局
協働	大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制の構築	中部地方整備局
協働	初動時医療対策のあり方	中部ブロック DMAT連絡協議会
	連携課題に関係する機関	愛知県、岐阜県、長野県

活動計画検討会 検討内容

○第1回活動計画検討会：平成30年7月23日（月） 13:30～15:30

<議題>

- ・中部圏戦略会議活動経緯を確認
- ・中部圏戦略会議タイムライン及び分科会について検討
- ・防災に関する意見交換
(各県の広域防災拠点整備状況、平成30年7月豪雨における災害対応等)

○第2回活動計画検討会：平成30年11月12日（月） 13:45～15:15

<議題>

- ・中部圏戦略会議 令和元年度活動計画(案)の検討
- ・中部圏戦略会議タイムラインについて検討
- ・救出救助・総合啓開分科会について状況報告
- ・防災に関する意見交換
(各機関の防災施策、平成30年北海道胆振東部地震における災害対応等)